マクロ経済学Ⅰ, 国民所得論 :学期末試験問題

伊藤幹夫

持ち込み不可

以下の各問に答えよ。最初の用語解説以外、行数は自由である。

1. 次の用語を解説せよ。 (それぞれ 2 行以内)
   (a) 国内総生産
   (b) 資本のレンタル価格
   (c) ハイパワードマネー (ベースマネー)
   (d) 不変価格表示
   (e) メニューコスト
2. 郵便局への預金は通貨か ? 自らの見解を述べよ。
3. 消費の恒常所得仮説の考え方を、簡単なモデルや実例を示しながら解説せよ。
4. 消費の恒常所得仮説が現実に妥当するとき、政策立案者にはどのようなことを考慮すべきかを論ぜよ。
5. 資本財の価格と資本用役の価格の関係を導け。できれば、租税 ・補助金が存在する場合も考えよ。
6. ルーカスの誤認モデルにおける生産者は、一般物価水準の情報を一期以前のものしか利用可能でない。もし当期の一般物価水準の情報を得ることができるなら、ルーカス理論の結論はどのように修正されるか。また、一般物価水準の情報が二期以前のものしか利用可能でないとすると、結論はどのように修正されると思うか。
7. 実景気循環理論は、産出量の変動の源泉を実ショックに求める。そのメカニズムを述べよ。さらに理論自身の問題点を挙げよ。
8. いくつかの政策を評価する場合、重要だと思われる点を指摘せよ。また、なぜ重要かを書け。さらに、代替的な政策を評価する場合の難しさについて論ぜよ。